

未来の自分を見つめて ～キャリア・スタート・ウィーク～

市内各所

市内の事業所を訪問し、職場体験を通して仕事の大切さや大変さを学び、自分の将来を考えてもらうキャリア・スタート・ウィーク。8月21日から25日の5日間、市内各所で仕事に取り組む中学生の姿が見られた。

市役所で職場体験をした中村颯くん(小方中2年)は「市役所にはいろいろな部署があり、だからこそ市民が安全に安心して過ごせることがわかりました」と話してくれた。中村翠さん(同)は「5日間市役所に行って、私達は普通に学校生活を送っているけど、裏では多くの人が支えてくれていることがわかりました」と聞かせてくれた。橋本梨花さん(同)は、「私はこの職場体験学習で、普段できないような体験をして、たくさんのことを学ぶことができたのでよかったです」と笑顔で話してくれた。3人は初めての仕事に触れ、充実したキャリア・スタート・ウィークになったようだ。



力を合わせて給水訓練。

8
21~25



(上)市議会議場のカメラを操作。
(下)広報の取材で、インタビュー。



9
1



(右上)開通式のテープカット。
(上)白バイがパレードを先導。
(右)地区のみんなで記念撮影。



小瀬川沿いの道路が より便利に

防鹿地区

国道186号御園バイパス工事で、昨年11月に片側開通していた防鹿トンネルを含む防鹿工区770メートルの整備が終了し完成式を行った。式には、工事関係者や地元住民など約60人が出席。テープカット後に、全長370メートルの防鹿トンネルを通過するパレードを行った。

アットホームな 音楽会

玖波公民館

玖波公民館のロビーで開催されたロビーde音楽会。小学生から大学生までの幅広い年齢層の音楽家が、日ごろの練習成果を披露した。

会場を訪れた50人以上の観客は、「ちよつちよ」や「白鳥の湖」など、13曲のピアノ演奏を鑑賞。地元でピアノを教えている藤井里江子さんは「ロビーなので狭いですが、かえって音が響き、子どもたちの演奏の素晴らしさが伝わってくる音楽会でした」と感想を話してくれた。

息の合った連弾。



9
2